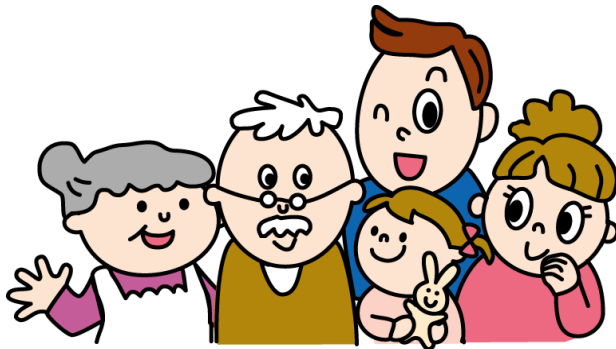


## 赤ちゃんより先に退院されるママへ

### ★面会方法（面会時間に関しては看護師より説明させていただきます）

- ・ 自宅でおっぱいを搾りましょう。
- ・ 感染予防のため、ご両親のみが入室して直接面会ができます。
- ・ 面会に来られた時には、インターホンでお知らせ下さい。
- ・ 発熱・咳・下痢・熱のはな・手の化膿などがありましたら、必ず入室前にスタッフにお知らせ下さい。
- ・ 赤ちゃんが保育器から出られるようになり、点滴などの治療の必要が無くなれば、直接抱っこして授乳することができます。
- ・ 赤ちゃんの退院が決まり、必要であれば退院前母児同室をすることもできます。



## 赤ちゃんが入院中のママへ、退院後の搾母乳について

持ってこられた搾乳は、細菌の有無を調べます。  
細菌が検出された場合は、その搾乳を使用しないこともあります。  
その時は、説明させていただきます。

### ★搾乳の方法

- ①手を洗いましょう。
  - ・ 指の爪は短く切りましょう。（つけ爪は細菌の温床となります。）
  - ・ 液体、または泡状石けん（詰め替え・固形は控えます）と流水で、念入りに（最低30秒以上）洗います。
  - ・ 手は、洗濯した乾いたタオルで拭きます。
  - ・ コロナ、インフルエンザ、ヘルペスを発症中の場合は手指消毒とマスクの着用もして搾乳しましょう。
- ②おっぱいの準備をしましょう。
  - ・ おっぱい専用のタオルを決めてください。
  - ・ 乾いたタオルをお湯に湿らせ、乳首→乳輪→乳房の順に拭きます。
  - ・ 特に乳首を丁寧に拭きましょう。
  - ・ マッサージをして、母乳の分泌を良くします。
- ③搾乳をしましょう。
  - ・ 初めの5、6滴は搾乳器を使わずに手で搾り、捨てましょう。その後、手または搾乳器を用いて消毒後の乾燥させたビンに搾ります。
  - ・ ビンの消毒は、ミルトンまたは煮沸消毒した物を使用して下さい。

★母乳パットの取り扱い方（母乳パットは薬局や育児用品店などで購入できます。）

※母乳パットの取り扱い説明をよく見て、手順通りにパッキングをお願いします。

- ① 1回の搾乳につき1パットを使用し、すぐに冷凍して下さい。（細菌繁殖防止）
- ② パットに指を入れたり、息を吹き込んで袋を広げないで下さい。（細菌混入防止）
- ③ パットに搾乳を入れ中の空気は抜いて、完全に密閉し封をします。  
パット記載の手順に従って封をして下さい。セロテープなどでは固定しないで下さい。
- ④ 搾乳日時と量、フルネームを必ず油性ペンで記入して下さい。（にじみ消え防止のため）  
赤ちゃんのお名前が決まりましたら、お母さんと赤ちゃんのお名前両方を記入して下さい。
- ⑤ パットに入れられる上限以上の量を入れしないで下さい。  
入れ過ぎは破れや解凍時に漏れて、衛生上使用できなくなることがあります。  
漏れないことを確認してから凍らせて下さい。

※母乳パットを清潔に保つために、搾乳やパッキング中は、すぐ側でのおしゃべりは避けましょう。

### ★病院への持参方法

- ① 完全に冷凍した母乳をクーラーボックスなどに入れ、溶けないように持参して下さい。  
（保冷剤など利用しましょう。）
- ② 当院では搾乳してから2ヶ月以内のものを赤ちゃんに飲んでもらうようにしています。

### ★持参量の目安

お預かりできるスペースに限りがあります。

1日哺乳量×次回面会までの日数の母乳+数パットをその都度持参をお願いします。

例) 1回35ml×8回=1日量280ml 次回面会まで3日ある場合

280ml×3日=840ml+数パット持参下さい。自宅での保管と合わせて、ご協力をお願いします。

母乳は1日量を1度に解凍しています。

赤ちゃんの1日に飲んでる量を把握して、パッキングや持参の目安にして下さい。

※体重や状態によって哺乳量は増減します。

預かり搾乳の残量や1日の哺乳量など、遠慮なくスタッフに聞いて下さいね。

### ★搾乳が使用できない場合

- ① 原因不明の熱がある時。嘔吐や下痢をしている時。
- ② おっぱい・乳首が荒れたり、化膿している時
- ③ 薬を飲んでいる時は必ずスタッフに相談して下さい。  
※ コロナやインフルエンザ、ヘルペスにかかっている場合でも  
手洗い・手指消毒・マスク着用をして搾乳すれば使用できます。

★分からない点、困った点などあればスタッフに声をかけて下さい。

